慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	shoutoeat : WANTSを登録する目的志向型ライフログの提案
Sub Title	shoutoeat : a proposal for a purpose-oriented lifelog by WANTS Method
Author	陳, 奕親(Chin, Ichin) 杉浦, 一徳(Sugiura, Kazunori)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	本研究は、インターネット上のライフログ共有サービスにおいてユーザが入力した情報の再利用が困難であることを課題として扱い、この課題を解決するために、目的志向型とインタラクティブコミュニケーションを用いたライフログ「shoutoeat」を提案し、評価を行う。 既存のライフログは、情報共有の場や人間関係の構築の場としての価値を生んだが、情報量が増えるほど、利用者に情報閲覧の負担を与え、一度発信された情報は、他の利用者が再利用しにくい問題点がある。情報の再利用ができていない原因は、属性情報の定義が足りず、時系列のインターフェースが主流であり、利用者間のコミュニケーションが不足しているためである。 本研究では、WANTS情報に特化した記録と時制による縦断的な情報提供の手法を用い、食べ物のWANTSを登録する目的志向型ライフログ「shoutoeat」を提案する。情報の再利用を実現するプラットフォームとし、従来の「点」でしかなかった共有から、WANTS情報に沿った現在も過去も含めた一つの「線」のように連続的な情報共有にすることに取り組む。
Notes	修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第243号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0243

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2012年度（平成24年度）

shoutoeat：WANTSを登録する目的志向型ライフログの提案

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

陳　奕親

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

陳　奕親

審査委員：

杉浦 一徳 准教授　（主査）
加藤 朗 教授　（副査）
中村 伊知哉 教授　（副査）

修士論文 2012年度（平成24年度）

shoutoeat：WANTSを登録する目的志向型ライフログの提案

論文要旨

本研究は、インターネット上のライフログ共有サービスにおいてユーザが入力した情報の再利用が困難であることを課題として扱い、この課題を解決するために、目的志向型とインタラクティブコミュニケーションを用いたライフログ「shoutoeat」を提案し、評価を行う。

既存のライフログは、情報共有の場や人間関係の構築の場としての価値を生んだが、情報量が増えるほど、利用者に情報閲覧の負担を与え、一度発信された情報は、他の利用者が再利用しにくい問題点がある。情報の再利用ができていない原因は、属性情報の定義が足りず、時系列のインターフェースが主流であり、利用者間のコミュニケーションが不足しているためである。

本研究では、WANTS情報に特化した記録と時制による縦断的な情報提供の手法を用い、食べ物のWANTSを登録する目的志向型ライフログ「shoutoeat」を提案する。情報の再利用を実現するプラットフォームとし、従来の「点」でしかなかった共有から、WANTS情報に沿った現在も過去も含めた一つの「線」のように連続的な情報共有にすることに取り組む。

キーワード：

ライフログ, 再利用可能の情報共有, 目的志向型, WANTSメソッド, インタラクティブコミュニケーション

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

陳　奕親

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2012

shoutoeat : A Proposal for a Purpose-oriented Lifelog by WANTS Method

Summary

In this thesis, we introduce a lifelog model, " shoutoeat ", which consists of purpose-oriented approach and interactive communication to solve a problem in reusing of information posted by individuals on lifelog services.

Existing services show the development of the platform in which users could share information and build relationships, but meanwhile new problems have arisen. Owing to the increase in the amount of information, users have difficulty in retrieving information they really need with the reuse of information posted by other users. Three factors in lifelog services contribute this problem: (1) lack of definition of information attributes (2) timeline interface become completely mainstream (3) insufficient communication between users.

We specialize in what people want to do in the future, called WANTS method in this thesis, and offer information including the WANTS keyword throughout time. In the lifelog model " shoutoeat ", we proposed a new way for sharing information by offering related records as a " path " to develop the possible next actions, not only indicating a " dot-like " single event.

Keywords:

Lifelog, Reuse of Information, Purpose-oriented, WANTS Method, Interactive Communication

Graduate School of Media Design, Keio University

Ichin Chen